

SBドライブの自動運転車両運行プラットフォーム

「Dispatcher」の対応車種拡大に向けて PerceptIn と協業

ソフトバンク株式会社の子会社である SB ドライブ株式会社（以下「SB ドライブ」）は、SB ドライブの自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」の対応車種拡大に向けて、低速走行車両の自律走行ソリューション提供などを手掛ける PerceptIn Limited（パーセプティン、以下「PerceptIn」）と協業します。SB ドライブと PerceptIn は、自動運転車両を移動手段として日本で普及させることを目的に、今後 PerceptIn が開発した自動運転車両と「Dispatcher」を連携させ、日本で自動運転車両の運行実験を行うことを目指します。

「Dispatcher」は、複数の自動運転車両の運行を遠隔地から同時に管理・監視できるプラットフォームです。車内での転倒事故につながりやすい乗客の着座前発進や走行中の車内移動などを、AI（人工知能）で検知して遠隔監視者や乗客に注意喚起を行う機能や、それらの事象が過去に発生した箇所や回数を地図上で確認して運行ルートや車両設定の改善に利用できる機能、出発地と目的地を指定して遠隔地から車両に走行指示を出す機能などを備えています。また、PerceptIn は、独自のセンサーの搭載により、目的地までの最適なルートを周囲の環境に合わせて自動で走行できる安価な低速自動運転電動車両（LSEV）などを開発しています。SB ドライブと PerceptIn は、PerceptIn が開発した自動運転車両の運行管理・監視に「Dispatcher」を利用できるようにすることで、PerceptIn が開発した自動運転車両の運行を日本で実用化させることに取り組みます。

なお、SB ドライブは、今後もさまざまな自動運転車両の運行管理・監視に「Dispatcher」を利用できるよう開発を進めていきます。

■PerceptIn が開発中の車両の一例



■ 「Dispatcher」 のイメージ



■ PerceptIn（日本法人）の問い合わせ先
PiJapan.info@perceptin.io

- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のもので、これらの情報は予告なしに変更される場合があります。